

授業科目	*実践英語音声学 I				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	西原 真弓										
授業概要	<p>実践英語音声学 I では、英語の母音・子音、リズム・イントネーションに関わる英語音声の法則全般について実践を通して理解し、英語の正しい発音のみならず聞き取りの向上に繋げることを目的とします。調音点や調音方法の理解やその発声方法の訓練を通して、自らの英語発声を客観的に観察することができるようになり、最終的により正しく発音をするために自律的に学習を続けていけるようになることを目指します。さらに、英語音と日本語音の比較を通じて、言語間の音構造の違いについても理解を深めます。マザーグース、英会話表現や洋楽の歌詞などを通じて、英語特有のリズムや音声的特徴の基本についても実践的に楽しく学んでいきます。</p>										
授業形態	講義・演習			授業方法	ペアワーク・グループワーク						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>①英語の子音の調音点や調音方法について学び、該当の質問に答えることができる。(DP1-2) ②英語の母音や子音を自らが発音できる。(DP1-2) ③国際音声表記 (I P A) 読むことができる。(DP1-2) ④英語特有のリズムや音声的特徴の基本について概ね理解している。(DP1-2) ⑤英語音の聞き取りや発音のコツを理解し、日常英語で活用を試みることができる。(DP1-2)</p>										
理想的レベル	<p>①英語の子音の調音点や調音方法について学び、他者にわかりやすく説明できる。(DP1-2) ②英語の母音や子音を自らがより正確に発音できる。(DP1-2) ③国際音声表記 (I P A) を使って表記したり、 I P A 表記を読むことができる。(DP1-2) ④英語特有のリズムや音声的特徴について理解し、他者にわかりやすく説明できる。(DP1-2) ⑤英語音の聞き取りや発音のコツを理解し、日常英語で自然に活用することができる。(DP1-2)</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合 (数値)				備考						
試験											
小テスト	50%				リスニングの小テスト 3 回 (10 点×3) 及び、音声学の知識を問う小テスト 1 回 (20 点)						
レポート											
発表 (口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物	40%				英語発音、及び、発音向上に対する評価						
その他	10%				授業内での発音練習姿勢						
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	EN11101J
学習課題 (予習・復習)										1 回の学習目安 (時間)	

授業で学習したことを実践的に復習する 各自発音の到達目標を設定し、達成のための練習計画を立て、毎日発音・聞き取り練習をする You tube、TED Talk、海外のニュース番組、洋楽などを聞き、シャドーイング練習をする	4
授業計画	
第1回	授業ガイダンス／音声学とは？／音声器官と音の分類 発音の録音、半期間の目標と計画立案
第2回	英語の子音(1) 閉鎖音・鼻音／発音練習
第3回	英語の子音(2) 摩擦音／発音練習 リスニング小テスト①
第4回	英語の子音(3) 摩擦音・破擦音／発音練習
第5回	英語の子音(4) 測音・半母音／綴り字と発音／発音練習
第6回	英語の母音(1) 前舌母音・後舌母音／発音練習 リスニング小テスト②
第7回	英語の母音(2) 中舌母音・二重母音／発音練習
第8回	英語の母音(3) 二重母音／発音練習
第9回	音節と語強勢・文強勢／発音練習 リスニング小テスト③
第10回	ポーズ、ピッチとイントネーション／発音練習
第11回	音のつながり(1) 連結(linking)その1／発音練習
第12回	音のつながり(1) 連結(linking)その2／発音練習 音声学知識確認テスト
第13回	母音・子音に関する総復習 音声学知識確認テスト返却、振り返り
第14回	リズム（強勢／連結）に関する総復習
第15回	総括 課題レポート返却、振り返り
テキスト	今井由美子／井上球美子 他共著 (2020年) 『英語音声学への扉—発音とリスニングを中心に—』 【改訂版】 Sounds Make Perfect DVD付 (ISBN: 978-4-269-63014-7) 本体2,400円+税
参考図 書・教材 /データ ベース・ 雑誌等の 紹介	必要に応じて適宜紹介する。
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	リスニング小テストは、その場で採点し振り返りをする。 音声学の知識に関する理解度小テストは、採点し翌週授業内で返却、振り返りをする。 レポート外課題は、コメントをつけて返却する。 その他 は、個々に対面でコメントをする。

学生への
メッセー
ジ・コメ
ント

英語耳をつくるためには、いろいろな英語の音声に慣れる必要があります。そのためには、テレビ・ラジオ・インターネット・映画などを有効に活用して下さい。また、問題を解くという意識を捨て、可能な限り英語を聞き、使ってみる努力をしましょう。